

きらめき

ひとひと
女と男

発行 沖縄市 市民部 平和・男女共同課
沖繩市男女共同参画センター

OKINAWA

〒904-0003 沖縄市住吉1-14-29 3階（沖縄市社会福祉センターとの複合施設）
TEL.098-937-0170（午前9時～午後5時） FAX.098-937-0175

きらめきフェスタ2022 講演会

『困窮世帯を自立へ繋ぐ！負の連鎖を断ち切り一歩前進!!!』を開催しました

令和4年11月26日（土）に困窮する子育て世帯に食料を届ける活動を行うゴージャス理枝氏による講演会を行いました。ご自身の強みは、DVや離婚調停、借金、保証人などのどん底を経験したこと。その経験を活かして、女性を輝かせたい、元気にしたいという思いでエステサロンを開業したのですが、エステサロンには、助けたいと思う女性がなかなか来店しないことから、待つのではなく、自分からいこうと決意し、“女性を元気にする会”を設立した経緯を話されました。

「女性の自立支援」と「負の連鎖を断ち切る」という2つのコンセプトを掲げ活動を行っており、様々な理由から孤立する女性に対し、一歩を踏み出すきっかけをつくるため、無料イベントを毎年開催しております。それと同時に児童養護施設にいる「クリスマスは嫌い」と言っていた子どもたちへ、SNSを通じて集めた洋服や食料をご自身がサンタとなり、毎年プレゼントとして届けている活動の話がされました。

SNSを通じて活動されるなか、様々な事情を抱える女性たちからSOSが流れてくるようになり、2020年頃から個人宅への食料支援を始め、月1回10世帯だった食料支援がコロナの影響により急激に増え、「今では月60世帯ほどの食料支援を行っている。沖縄で困窮している世帯がこんなにいるということを知ってほしい」と話をされました。また、訪問した際には、15分から30分ほどのヒアリングを行い、お母さんたちに足りない情報を提供し、行政サービスに繋がっているとのこと。食料支援で一番大事にしていることは、「ヒアリングで彼女達の心を掴むこと」と話すゴージャス理枝さんは、LINEなどのSNSを活用して、自立支援に必要な情報を配信しており、「食料支援は彼女達とつながるきっかけ、そこから必要に応じて行政へ繋ぎ、情報提供することで、一歩を踏み出すチャンスを提供したいと思いこの活動を継続して行っており、これからも続けていきたい」と語りました。



参加者からの質問

- Q** 繋げることが大事とのことですが、主にこういったところへ繋がっているのでしょうか。
- A** パーソナルサポートセンターや県、市の子ども関連の部署、各自治体の社会福祉協議会などが主になります。
- Q** 私たちが具体的にできることはどういったことでしょうか。ゴージャスさんの活動に協力したい場合はどうしたらいいでしょうか。食料支援で足りないものはどういったものでしょうか。
- A** “女性を元気にする会”のホームページを見ていただければ、支援をしたい方へのページがありますので、そちらに不足しているものを載せています。食料はお店（エステサロン）で受け付けています。食料支援は、食料がないと支援ができないので、ご提供いただけると大変助かります。

講演を聞いた参加者からの感想

- SOSが発信できて、それをキャッチしてくれる人がいると安心しますね。沖縄の現状、本当に多いと思います。SOSが発信できる環境作り、このような会があること、広げてほしいと思いました。
- 周囲に目を向け、まずは現状を知ることから始めていきたいと思いました。「孤立させない」共感しました。
- 思春期の子ども達への教育が大事だと思う。貧困の原因をなくすこと。自ら貧困を選ぶ人はいない。なぜ、そうなったのか、根底にある原因をなくしないと、ずっと貧困は続いていくのではないかと。
- どんなにこまっていた子ども達にひもじい思いをさせてはいけない。子どもは親の貧困を理解できない。そんな親を信ずる子ども達を助けてあげたい。

講師

りえ
ゴージャス理枝氏
(女性を元気にする会 代表)



<プロフィール>

専門学校を卒業後、オーストラリアに語学留学。帰国後は、県内のコンピュータ会社に11年勤め、取締役を経て退職。2008年にたくさんの女性を笑顔にしたいという思いから「ビューティーサロンゴージャス」を開業。2015年ボランティア団体“女性を元気にする会”を設立。

開催報告 沖縄市男女共同参画懇話会

去る12月14日(水)に第17期第3回沖縄市男女共同参画懇話会を開催しました。

同日、令和5年4月からの計画『第3次沖縄市男女共同参画計画～ひと・きらめきプラン～(2023年度～2032年度)』について、同懇話会から市長に答申が行われました。答申の内容は、ドメスティック・バイオレンス(DV)・性暴力等あらゆる暴力の根絶、政策決定・方針決定への男女共同参画の推進及び就労環境の改善に向けた支援、人権の尊重、男女共同参画意識の啓発、国際社会との協調といった5つの項目についての意見でした。市では、いただいた答申をもとに、同計画の策定作業を進め、男女共同参画社会の実現に努めていきます。



※沖縄市男女共同参画懇話会とは、沖縄市の男女共同参画の推進に関する事項について、審議及び提言させるため学識経験者や関係団体の代表者等で構成し設置される市の附属機関です。

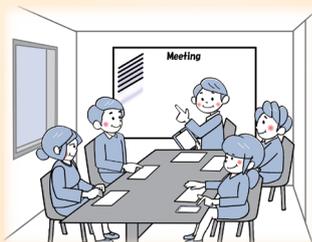
沖縄市 男女共同参画センターのご紹介

沖縄市男女共同参画センターは、誰もがその人らしく生き生きと暮らせる男女共同参画社会を目指すために、様々な講座や研修、活動等を行う拠点施設です。

男女共同参画センターには、会議室を設けています。

会議室の利用について

- ① 利用希望される団体は、沖縄市男女共同参画センターにお問合せください。詳しい利用方法などをご案内します。
- ② 利用日の7日前までに沖縄市男女共同参画センターに利用許可申請書をご提出してください。
(沖縄市HPからダウンロードできます)



沖縄県立コザ高等学校 講演会開催報告 周りと違って大丈夫！ ～LGBTs・性の多様性～

講師 竹内 清文 氏

(NPO法人レインボーハートokinawa 理事長)

令和4年11月29日(火)、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の理解をさらに深め、生徒が本講演会から学んだ知識を今後の社会生活の中で活かしていくことを目的とした講演会を沖縄県立コザ高等学校の生徒皆さんに行いました。竹内氏の話聞き、「認めるってどういうこと？」などのテーマで生徒がお互いに意見を交換し合うグループワークを行い、多様性への理解を深めました。



生徒からの感想

- みんなの意見を聞いてよかった。グループ一人ひとりみんな違う意見を持っていて素晴らしいと感じた。
- 自分らしく生きることの大切さを改めて学ぶことができました。
- 自分だけの価値観を押し付けなくて周りの人の個性を大切にしようと思った。

沖縄市立越来中学校 講座開催報告 LGBTってなんだろう？

講師 まあ～ちゃん(城間 勝 氏)

(一般社団法人 ちむぐみ 理事)

令和4年8月30日(火)、沖縄市立越来中学校の1年生を対象に、人権啓発講座を行いました。

城間氏は講座の中で、自分と違うことを受け入れずに批判するのではなく、違うことを認めて受け入れることで、お互いの個性を大切に、認め合えること、それが世界に広がると平和にもつながっていくと話されました。



生徒からの感想

- 世界には様々な性を持っている人がいてそれを心の中で悩んでいた人たちがいる事が分かりました。これから、偏見をなくし、認め合い、共有していけるようになりたいと思いました。
- 体と心の性別が合わないことや、同性を好きになることはおかしいことではないと思った。LGBTについて考えを深めることができて良かったと思う。